The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	Economic Analyses of Public Sector's Reforms in Vietnam -Efficiency, Equity, and Sustainable Long Run Growth
Author(s)	Do, Ngoc Huynh
Citation	大阪大学, 2003, 博士論文
Version Type	
URL	https://hdl.handle.net/11094/44180
rights	
Note	著者からインターネット公開の許諾が得られていないため、論文の要旨のみを公開しています。全文のご利用をご希望の場合は、大阪大学の博士論文についてをご参照ください。

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

【4】

氏　　名	DO NGOC HUYNH（ドー ゴック フイン）
博士の専攻分野の名称	博　士（国際公共政策）
学 位 記 番 号	第　17959　号
学位授与年月日	平成15年3月25日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当 国際公共政策研究科比較公共政策専攻
学 位 論 文 名	Economic Analyses of Public Sector's Reforms in Vietnam —Efficiency, Equity, and Sustainable Long Run Growth （ベトナムにおける公共セクター改革の経済分析－効率性、公平性と長期的成長について）
論 文 審 査 委 員	（主査） 助教授　今川　拓郎 （副査） 教　授　齊藤　　愼　　慶應義塾大学商学部教授　跡田　直澄

論 文 内 容 の 要 旨

ベトナムでは中央集権計画経済から市場経済への変革を実施し初めてから二十年程がたち、改革の新しい局面を迎えている。こうした時に、これまでの政策を検討することは、新たな時代に対応する改革政策を作成するうえで重要である。本論文はその問題について効率性と公平性と長期的成長の各側面に注目しながら、理論的かつ実証的に分析した。

はじめに、第一章では改革過程、特に財政改革、そして経済構造の変化を検討した。その後、公共セクター改革の効率性に注目し、経済成長への公共投資の役割と公的企業の改革を、第二章と第三章で分析した。公平性については、第四章でミクロデータを使った地域的貧困と不平等の分析から、また第五章でマクロデータを使用して地域的経済成長と格差の分析から、公共政策の役割、特に、地域的公的支出・投資政策の役割を考慮した。最後に、第六章では人的資本と貧困と産業化の関係を理論および実証の両面で検討し、そして第七章では長期的成長に対する人的資本への政府支出の役割を理論的枠組みで説明し、それらを踏まえベトナムと他の開発途上諸国における人的資本に関連する政策を検討した。

論文審査の結果の要旨

本論文の重要な貢献は次の六点にある。第一は、公共投資は経済成長に重要な役割を担っているが、各産業セクターにおける公的資本と私的資本の構造が不適当であるかもしれないことを明らかにした点である。公共投資は農業部門の公的インフラに集中すべきであり、非農業部門ではむしろ私的投資を促進すべきである。第二は、公的企業の改革を検討することによって、公的企業の重要な役割を維持することと、失業を下げ経済成長を促進することという二つの目標の間にトレード・オフ関係があることを示した点である。現在のベトナムでは、非自然独占産業、特にサービスセクターにおけるそれらの産業を早く完全に民営化すべきである。第三は、地域のミクロレベルでは、不平等と

経済成長の関係についてクズネッツ仮説が成立しており、不平等を削減するために人的資本の累積が重要な役割も果していることを明らかにした点である。そして、貧困の問題についても、経済成長と人的資本と共に、公共投資も重要な役割を持つ事が分かった。第四は、地域のマクロレベルでは、経済成長の格差に、経済成長レベルと公的支出の格差は正の影響を及ぼして、人的資本は負の影響を与えていることを指摘した点である。他方、経済成長には公的支出・投資、そして外国直接投資が正の影響を及ぼしていることも明らかにした。第五は、人的資本は、ベトナムと開発途上世界の現状に基づく理論的および実証的研究によって、貧困を削減することと産業化の過程に重要な役割を果している点である。最後に、第六は、人的資本への政府支出の役割を組み入れる内生的経済成長モデルを用いて、最近発表されたベトナムの知識経済を発展されるための戦略が今のベトナム経済に妥当なものであることを示した点である。つまり、このモデルにもとづけば、人的資本の一般レベルを高めるための他の方法と共に、政府は、長期的成長を維持するため、教育への予算支出を増強すべきである。

要約すると、ベトナムにおける公共セクター改革を理論的かつ実証的に分析した本論文では、公共セクターの効率性に注目しながら、公平性と長期的成長の問題を慎重に検討し、短期的・長期的に経済全体の効率性と公平性を高めるためには、限定的資源の配分と再分配の政策を作成することが政府にとって重要であることが示された。

以上の点から、本論文は博士（国際公共政策）の学位に十分値するものと判断する。